

神経サルコイドーシスの治療

推奨文：

- 1) 症候性の神経・筋サルコイドーシスでは、肺などの他臓器サルコイドーシスと比較して、より積極的な治療を行ってもよい。
- 2) 急性期ないしは疾患活動性のある神経・筋サルコイドーシスへのfirst line治療はステロイド投与であるが、疾患活動性が高い場合にはステロイドパルス療法を考慮する。
- 3) 神経・筋サルコイドーシスでfirst line治療に抵抗性である場合や、ステロイド減量中に再燃が認められた場合には、second line治療として免疫抑制剤の使用を考慮する。
- 4) 神経・筋サルコイドーシスの代替治療法としては、リハビリテーションの実施や、免疫グロブリン大量療法、サリドマイド、TNF α 阻害剤、リツキシマブの投与、さらには放射線治療や外科治療、などの実施を考慮してもよい。
(ステロイド以外の薬剤は保険適用外である)